



# 神石小だより

神石高原町立神石小学校  
学校だより2月号  
令和6年2月14日

## 神石小学校 教育研究会

2月1日(木)県内各地から学校関係者の皆様においでいただきとともに、ご来賓・保護者・地域の皆様にも授業を見ていただき、誠にありがとうございました。研究主題を「豊かに表現できる子どもの育成～『論理的な読み』の指導を通して～」として、今年度は、国語科を中心に、児童同士が活発な意見交流を通して、学び合う授業をめざし、特に「思考の方法」を生かした授業づくりに取り組んでまいりました。今回の授業公開での反省や分科会でいただいた皆様からのご意見をもとに、教職員一同、心を新たに神石小学校の児童の学びをより確かなものしていきたいと思っております。来年度、本校で広島県国語教育研究大会が行われます。学んだことを今後の授業に生かしていきたいと思っております。

(学校関係者 感想より)

○子供たちが落ち着いて自分たちで学習を進めており、素敵な姿を見せていただきました。

○ねらいが明確で、児童が学習の主体者として 安心して学びに向かう姿がありました。

○根拠をもとに発表する児童が多く見られ、日々の授業づくりに感心しました。

○児童と先生の関係性がとてもよく、日ごろから一人ひとりを大切に指導されていることが伝わってきました。

○表現することに対して意欲的だったと思います

○根拠文は～と、自分の考えと根拠をしっかりと述べられる児童が多く、書く力もついていると感じました。

○学習意欲が高く、やるべきことに向かって主体的に取り組んでいたことが素晴らしいと思いました。言葉にこだわり、児童に「なぜ？」と問われていたのが印象に残りました。

○児童一人一人が自分の考えをもつことができていることに驚きました。またそれだけでなく根拠となる文や理由までつけて発表している様子が多く見られ、日々の授業での取り組みがあつてこそその姿だと感じました。



令和5年度環境と健康のポスター・標語コンクール事業への取り組みに対して一般財団法人広島県環境保健協会、神石高原町公衆衛生推進協議会より、学校奨励賞を昨年度に続きいただきました。



# なわとび大会

2月8日(木)

体育委員会主催のなわとび大会を実施しました。業間体育の「なわとびタイム」や体育の時間等に練習を積み重ね、自己記録更新を目指してがんばりました。1人2種目ずつ挑戦し、多くの児童が自己新記録を出すことができました。これまで、努力してきた成果が

あらわれたことを実感していました。また、縦割り班ごとに競う大縄跳びも行いました。班ごとに声かけをして、息を合わせて跳ぶ姿に感動しました。練習の時から、上学年の児童が下学年の児童にアドバイスをするなど、のよい関わりも見られました。まさに、本校の目指す「たくましい子」に育った姿が見られました。



## 2月・3月の主な行事予定

2月15日(木) 新入生保護者説明会

3月 1日(金) 3学期末PTA

5日(火) 6年生を送る会③④ 神石高原ランチ

22日(金) 卒業証書授与式

25日(月) 修了式・離任式

### 自分のこと自分prideしよう

右の題の言葉は、毎年この時期に行う「入学説明会」の時に説明させていただく資料の中にあります。「やって見せて、次は自分で」「見守りながら待つ。そして、できたらほめる。」……などと続いています。

一月一日に、本校の教育研究会・参観日を行いました。その後、来賓の方・参加された県内の先生方・参観をされた保護者の皆様、一同にお褒めいただいたのが、まさに「自分たちの授業を自分たちで進める子ども達」の姿でした。三・四年生の複式学級では、自分たちで課題解決に向かって考え、わからない所を出し合い、皆の考えを集約していく学びを行わなければなりません。そうすることで、教材文を通して、文学作品の主題に迫る深い学びを行うことができました。

両学年とも、一長一短にそのような学習ができたわけではありません。一・二年生の時に、疑問・課題を見つけ解決していく学習活動に自分で取り組むことができるようにじっくりと指導してきたことが、中学年につながっていったと思います。

また、高学年では、中学年での「自分たちで進める学び」を生かしつつ、内容をさらに充実し、教材文から課題に沿った「自分の考え(主張)」を文章の中から「根拠」を見つけ、それを拠り所とした確固たる「理由」で、自分の考え(主張)を補完する学習を行いました。このような高学年の学びができたのも、まずは、「根拠」「理由」「主張」といったことを関連付けて論を展開する手法(三角ロジック)の使い方を少しずつ子ども達に指導し、使える表現できるようにしてきたからです。

国語科の学習の中で、先に述べたようなことが完璧にできているわけではありませんが、小学校での目標の一つである「自分のことは自分でする」を学習を通してでもできるようにしなければなりません。

家庭・地域でも、「生活の中で」「自分たちのことは自分でできる」よう、手をかけすぎず、見守りながら子ども達の成長を促していただければありがたいと思います。

校長 田丸 栄